

# 支援プログラム

事業所名 トモデココ児童発達支援

作成日 R6.11.1



法人理念	人を育み、社会を創る		
事業所理念	子どもたちが、将来に向けて「地域の一員」として活動できるよう、一人一人の特性に応じた総合的な療育を届ける		
支援方針	<p>①一人一人に応じて、「感覚統合・ビジョントレーニング・SST・学習支援・認知トレーニング」を組み合わせた療育プログラムを作成します</p> <p>②「やってみたい」という気持ちを大切にします</p> <p>③個別と集団支援を組み合わせ、「人間力と社会性」の成長につなげます</p> <p>④子どもの育ちを促すと共に、保育所や放課後児童クラブ等の併行利用や移行に向けて支援します</p> <p>⑤指導者は、個々の専門性を活かして療育支援にあたります</p> <p>⑥家族支援を念頭に起き、常に保護者のサポーターであることを意識して支援します</p>		
営業時間	8:30～17:30（土曜・祝日は9:00～16:00）	送迎実施の有無	有 ・ 無
支援内容			
本人支援	健康・生活	食事・トイレ・身だしなみ、整理整頓等の基本的な生活スキルの習得に向け、きめ細かい支援を行います。スケジュールを視覚的に示したり、認知トレーニングと身体活動、食事の場を分けるなど、時間と空間をわかりやすく構造化します。	
	運動・感覚	ヘリコプター、スクーターボード、足裏忍者、セラパテ、聴覚識別等の多様な感覚に働きかける指導、スムーズな眼球運動を育てるビジョントレーニング、バランスや瞬発力を育てる運動療育プログラムなどにより、感覚の正常化と粗大及び微細運動能力の向上を図ります。	
	認知・行動	「形の違いに気づく」「見た物を覚える・描く」「見えない部分を想像する」など、一人一人に応じた認知トレーニングを行います。また、就学に向けて身につけておきたい基礎的な学習態度の獲得に向けたスクール形式の机上学習も取り入れています。	
	言語・コミュニケーション	挨拶・返事・質問・感謝・謝罪・自分の考えや気持ちの表現・身振りや表現の理解など、家庭・園・社会の中で欠かせない言語的・非言語的コミュニケーション能力を、来所から退所までの療育全体を通して細かく支援すると共に、子どもの特性に応じた読み書き能力の育成を図ります。	
	人間性・社会性	アナログゲーム療育を取り入れ、「ルールを理解して、ルールを守る」「友だちと相談したり、協力する」「勝ち負けを受け入れる」「やめる、もう一度挑戦したいという気持ちを伝える」など、人とのやりとりや関わりの場を増やしていきます。	
家族支援	個別またはグループで、発達の状況や特性の理解、支援方法についての相談援助や療育場面の参観を行います。	移行支援	並行保育を行っている保育所等の行事等を考慮して療育日の調整を行います。また必要に応じて保育所と情報交換し、支援方法の共通化を図ります。
地域支援・地域連携	地域や保育所等において円滑な生活を送ることができるよう、相談支援事業所とトモデココによる情報交換等を行います。	職員の質の向上	①療育支援スキルを高める専門研修②コミュニケーション・社会人基礎力向上研修③チューター制度導入による、新入職員の育成を実施しています。社外の自己啓発研修参加の促進に向けた社内補助金制度、人材育成評価制度の活用で個々の強みを伸ばす仕組みを取り入れています。
主な行事等	土曜日・祝日の療育では、初詣や七夕、ハロウィンなど四季折々の行事を取り入れた情感豊かな活動を実施します。		